

# 序 章

## 1 策定の趣旨

現在の我が国の農業を取り巻く環境は、農産物の価格低下、農業従事者の高齢化と後継者不足、収入の不安定等、様々な課題を抱えており産業として厳しい状況にあります。しかし、農業は国民の食の根幹を形成するものであり、安全・安心な農産物を消費者に提供するためにも、農業振興が図られることが求められています。

こうした我が国の農業の現状において、平成 27 年 3 月には、新たな「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、今後 10 年の日本における「強い農業」と「美しく活力ある農村」を目指した農業政策の方向性と 5 つの講ずべき施策が示されました。

また、沖縄県では、平成 25 年 3 月に「沖縄 21 世紀農林水産業振興計画」を策定し、亜熱帯性気候や地理的特性、多様な地域資源などの地域特性を最大限に生かし、おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化、担い手の育成・確保、観光・リゾート産業と連携したグリーンツーリズム等の推進による「持続的な農林水産業の振興」と「フロンティア型農林水産業の振興」に取り組んでいます。

うるま市は、平成 17 年 4 月に具志川市、石川市、勝連町、与那城町の旧 2 市 2 町が合併して誕生し、「人と歴史が奏でる 自然豊かな安らぎと健康のまち」を将来像に定めて新たなまちづくりを推進しており、農業でも旧市町の特徴を生かした多彩な農産物が生産されています。しかし、農業就業人口の減少や耕作放棄地の増加、畜産業では騒音や悪臭など、農業を取り巻く様々な課題が顕在化しています。

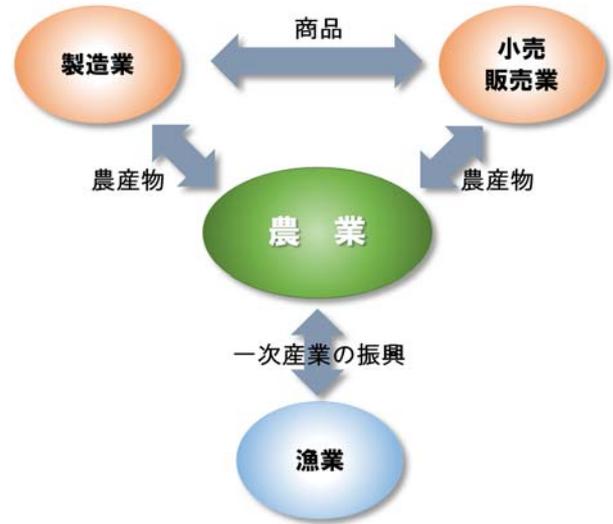
本市が抱える課題に対し、国や県による農業政策を踏襲しつつ、本市の地域ごとの農業の特徴や地域資源を生かしながら、農業と他産業との連携によって市内経済の活性化にも繋がる新たな農業振興策を定めて推進していくため、ここに「うるま市農業振興ビジョン」を策定するに至りました。

## 2 ビジョンの位置付けと構成

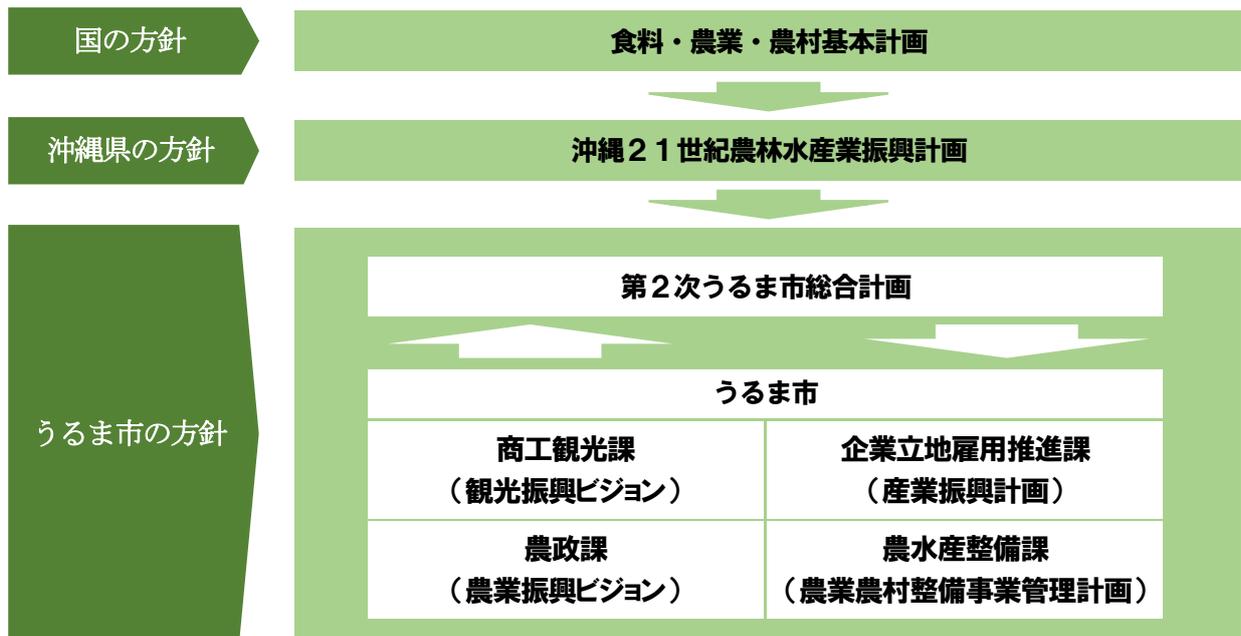
### (1) ビジョンの位置付け

本ビジョンは、国や沖縄県等における農業振興に向けた方針を踏まえ、本市の上位計画及び関連計画の方針との整合性を図り、本市農業・農村を総合的かつ計画的な振興を推進するための実効性の高い方針として位置付けます。

合わせて、農業振興では、多様な産業との連携による取り組みを念頭に置いており、農業振興による農家所得の向上と合わせて市内産業の従事者の所得向上も期待されます。そこで、市内経済の活性化にも繋がるものとするため、本市経済部における各課の取り組みと連携して目標を達成するビジョンとして位置付けます。



農業と市内産業との多様な連携



うるま市農業振興ビジョンの位置付け

## (2) うるま市産業振興が目指す目標

現在のうるま市の経済情勢は、「市民所得が、沖縄県の県民所得と比較しても少ないこと」や「失業率が高い」状況にあるなど各種基盤整備も含めた「産業の活性化」についての施策が求められています。

そこで、「10年後のうるま市のあるべき姿」を明確にすることで、各施策を効率的に展開し、「ジリツ（自立・自律）できるまちづくり」のための取り組みを重視して進めていきます。

本ビジョンでは、「うるま市産業としての農業」と位置付け、農業振興だけでなく、他産業との連携も視野に入れて策定します。

**【うるま市が目指す目標】**

**うるま市の魅力を生かした産業を育てます**

## (3) ビジョンの構成

本ビジョンは、基本構想、基本計画、資料で構成します。

|             |  |
|-------------|--|
| <b>基本構想</b> | <p>本市の農業・農村における現状と課題を整理し、将来の目指すべき姿を設定するとともに、取り組むべき施策の方向性を明確にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現状と課題</li> <li>○農業・農村の目指す方向             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓基本理念</li> <li>✓目標</li> <li>✓基本方向</li> <li>✓推進方針</li> <li>✓目標値</li> <li>✓施策体</li> </ul> </li> </ul>                  |
| <b>基本計画</b> | <p>本市の農業振興に向けて、基本構想で設定した4つの基本方向を踏まえて設定した取り組むべき施策の展開に向けた具体的な方策を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆強く継続性の高い農業経営体の育成と生産環境づくりを推進</li> <li>◆生産性が高く収益に繋がる生産基盤の形成</li> <li>◆うるま市ブランドの形成と県内外への展開体制の確立</li> <li>◆地域資源を活用して豊かで活力ある農村の創出</li> </ul> <p>基本計画の具体的な方策を踏まえ、本市の地区別振興方向及び、主要品目別生産振興方向等を設定します。</p> |
| <b>資料</b>   | <p>基本計画の具体的な方策を踏まえ、目標所得に向けた本市の営農モデルを設定します。</p>   |

## (4) 計画年次

本ビジョンの計画期間は、平成29年度から平成38年度までの10年間とします。

なお、国、県の農業政策の変更や社会情勢等の変化・影響等に対応するため、5年後に施策等の見直しや変更等を行います。

